

区制80周年を 迎えて

城東区長
吉村 悟



区民の皆さま、城東区制80周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

この区制80周年にあたりまして、区制80周年記念事業実行委員会を結成され、また、この趣旨に賛同され、さまざまなかたちでご協力、ご尽力くださいました皆さま、厚くお礼申し上げます。

城東区は、昭和18年4月、旭区の南部と東成区の一部（千間川以北）を併せて分区独立し誕生しました。その後、昭和49年に行われた行政区再編成によって東部が鶴見区となり、現在の城東区が誕生しました。

大阪市の中でも人口密度が高く、現在約16万8千人の方々が暮らす、賑やかで活気のある区です。電車の路線数が6つもあり、通勤や通学などに大変便利で、梅田・難波や天王寺といった都心にも出やすい、人気の高いエリアです。

城東区役所では、「区将来ビジョン」におきまして、区民の皆さま一人ひとりが、より一層この城東区で輝いていただきたいとの思いを込めて、「住んでよかったと思えるまち～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～」を将来像に定め、区政運営を進めています。

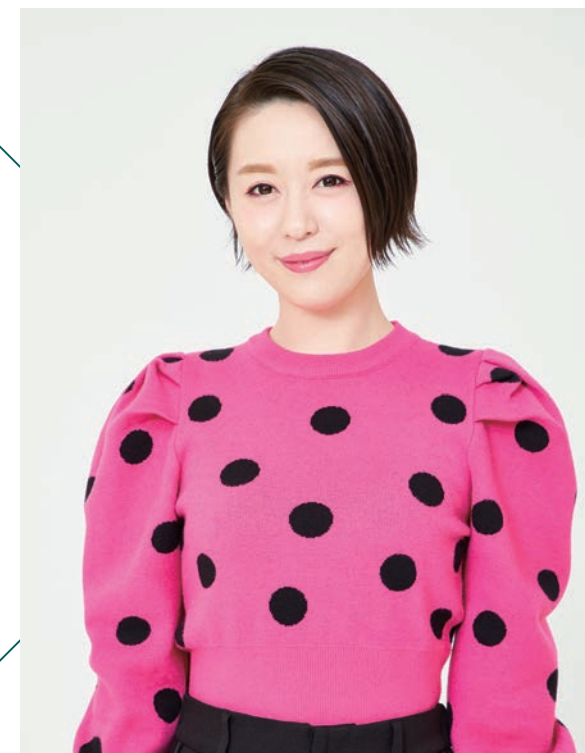
今日の城東区におけます課題として、子育て支援に関すること、高齢化などによる要援護者への対策、今後想定されている南海トラフ巨大地震などの大規模災害への適切な対応のほか、地域固有の課題があげられます。これらの課題に真摯に向き合い、関係する方々とも緊密に連携しあいながら、一步一步前進させてまいりたいと考えております。

ここ数年は、世界的にまん延した新型コロナウイルス感染症に翻弄され続けましたが、ようやく落ち着きを取り戻しつつあるなど、明るい兆しが見えてまいりました。歴史と情緒、都市環境という貴重な資産を活かした事業を企画し、城東区を盛り上げてまいります。そして来る2025年には大阪・関西万博が開催されるなど、城東区がよりたくましく成長し発展していけるよう、全力をあげて取り組んでまいります。

最後になりましたが、区制80周年を契機として、区民の皆さまへ最上の区役所サービスが提供できますよう、区政運営に邁進してまいります。区民の皆さま方、城東区のますますの発展をお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

お祝いのことば

吉本興業
宇都宮 まき



城東区80周年おめでとうございます。

吉本新喜劇の宇都宮まきです。

わたしは城東区で生まれ、吉本に入って一人暮らしをするまで、ずっと城東区に住んでいました。

今でもしょっちゅう実家に帰るので、城東区には生まれた時からずっとお世話になってます。

そんな私が思う城東区の素敵な所は、都会過ぎず田舎過ぎずちょうどいいという所です！

古い街並みを残しながら、新しいお店もたくさんあって、とても住みやすく散歩していても気持ちがいいです。

昔からずっと住んでいる人たちがたくさんいる所を見ると、とても住みやすいいい町なんだと思います。

これからも100年200年、ずっと住み良い町城東区が続く事を願っています。

私の夢は、城東区複合施設のホールで吉本新喜劇の公演をする事です。

いつになるか分かりませんが、その時にはぜひ、皆さん見に来てください！

城東区制80周年、本当におめでとうございます！